

昨年度から年金積立金管理運用独立法人（GPIF）の運用が話題になっている。

最近の GPIF 運用実績から年金運用損について

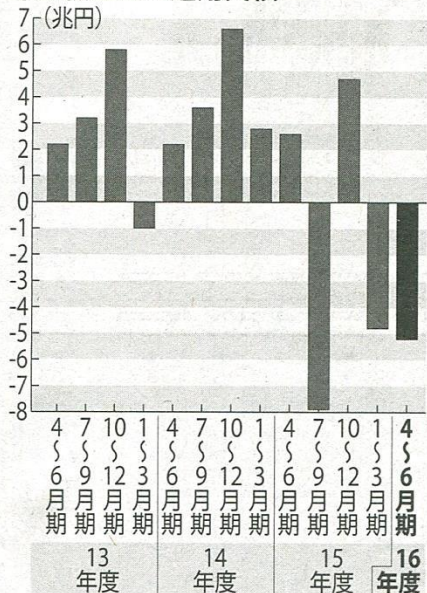
新聞記事から抜粋して以下に紹介いたします。

毎日新聞 平成28年8月27日付



年金の話
久玉副理事長

年金積立金の運用実績



毎日新聞 2016.8.27

年金運用損5.2兆円

4～6月

公的年金の積立金を運用している「年金積立金管理運用独立行政法人」（GPIF）は26日、2016年4

厚生年金が赤字転落
国民年金も年金運用損失響く

厚生労働省は5日、2015年度の年金特別会計の収支決算を発表した。時価ベースでは、会社員や公務員が加入する厚生年金勘定が2兆744.8億円の赤字だった。自営業や非正規雇用

の人の国民年金勘定も500.9億円の赤字。厚生年金では10年度以来、国民年金は08年度以来の赤字決算になった。

公的年金の積立金を運用している「年金積立金管理運用独立行政法人」（GPIF）による市場運用で5兆3000億円余りの損失を出したことが響いた。ただし、運用の影響を除けば保険料と給付費の収支はプラスで、厚生年金は「年金額には影響しない」と説明している。

厚生年金の保険料収入は、加入者の増加などで前年度比1兆516.5億円増の27兆836.1億円。景気回復で企業に就職し、厚生年金の対象となる人が増えたためとみられる。

企業年金もマイナス15年度

企業年金連合会は26日、全国の厚生年金基金と確定給付企業年金の2015年度運用調査結果を発表した。中国の景気減速などによる株安で損失が生じ、調

査に答えた747基金の平均収益率はマイナス1.16%だった。マイナスは5年ぶり。

資産別では、運用環境の悪化で国内株式の収益率は8.30%、外国株式8.48%、外国債券1.85%のいずれもマイナス。金利低下で価格が上昇している国内債券がプラス4.70%だった。

4～6月期の運用損失は5兆234.2億円に上ったと発表した。英国の欧州連合離

脱問題などで株式が下落した影響を受け、2四半期連続で運用損失を計上。過去3番目に多い運用損失額。

また、資産構成割合の株式比率を50%に引き上げた14年10月から今年6月末まで7四半期の累積の損失額は1兆962億円に上り、初めて赤字に転落した。運

【阿部亮介】
GPIFの担当者は26日の記者会見で「今後5年に積立金から支給する年金分は国債の償還で確保している。その先の20年は保険料で賄う。短期的には年金給付に影響はしない」と説明した。

